

妙高高原スキー報告

期 日 : 2017年 3月4日(土)~5日(日)

参加者 : CL柘植(記録)、杉山、加藤、安岡

報告1 : 3月4日(土)晴、赤倉温泉スキー 11:00~16:00

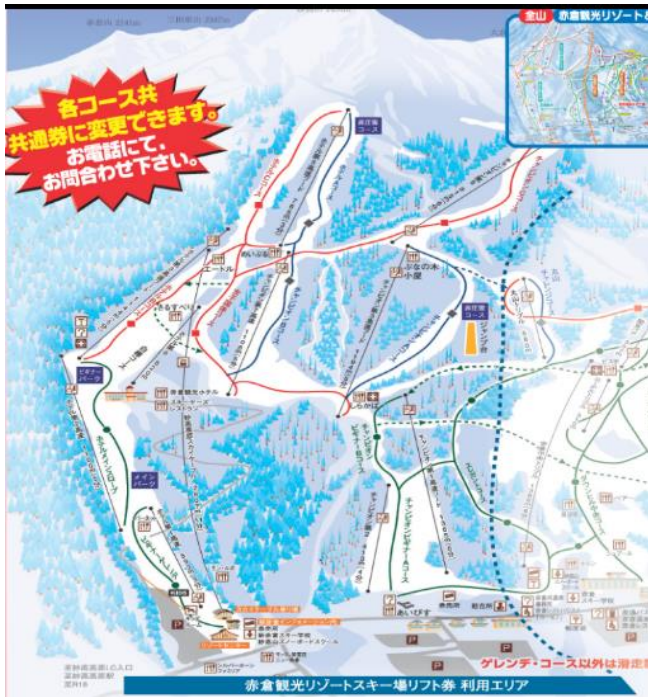
いつも通り関越の事故で1時間ほどロスするが、11時すぎにはゴンドラに乗ることができた。赤倉温泉は加藤さんの「一度泊まりたい」のリクエストで決め、必然的に初日は赤倉温泉スキー場でスキーとなった。ゲレンデマップで見ると幅広でなかなかバリエーションに富んでいるようで期待したが、やや初心者向きであった。それでも5時間券という他にスキー場にはあまり見慣れないリフト券で目一杯滑り、夕方に宿の御宿銀明荘に戻ったが、ここでハプニング!

柘植と安岡さんは持参のビールや缶チューハイをクルマの横の雪になかに埋めて冷やしていたのだが、宿主がブルドーザーで除雪してくれて、持参のアルコールはきれいに除雪された雪塊のなかに埋もれてしまったのだ。まあ春になれば出てくるので宿に寄付したことにして、近くの酒屋(新酒の試飲あり)に補充のアルコールを買いに行った。

宿は当日の宿泊者は我々だけであったが、広い部屋(12畳!)と温まる温泉、おいしい食事で大満足でした。



報告2 : 3月5日(日)曇りのち晴れ、赤倉観光リゾートスキー 8:30~13:00



二日目はアカカンと池の平、杉の原の3つを天秤にかけたが、宿のリフト割引券があることと、中級向きコースが多いことからアカカンに決めた。駐車場は宿からすぐなので、余裕でリフト運行前にゴンドラに並べた。ここは赤倉温泉スキー場と比べると幅は狭いが標高差がある。また上半部には中級～上級コースを取り揃えており、かなり楽しむことができた。基本的には4人バラバラで滑っており、中間での待合せ時間に食堂で一旦合流という感じ。上級コースは3本あり、2本はそれほど困難ではなかったが、非圧雪で急傾斜、大きなコブがぼこぼこあるチャンピオンAコースは手も足も出ないという感じで、柘植は昨日今日で培われた若干の自信が粉々にうち砕かれてしまった。本日も午前券(8:30~13:00)目一杯すべり、風呂にも入らず直帰したので、渋滞にもはまらず、18時前に帰葉できた。二日とも好天に恵まれ、やっぱりスキーは楽し